

森林 CO₂ 吸収・評価・認証の取組について

～環境先進企業等の参加による間伐等促進の仕組みが決定～



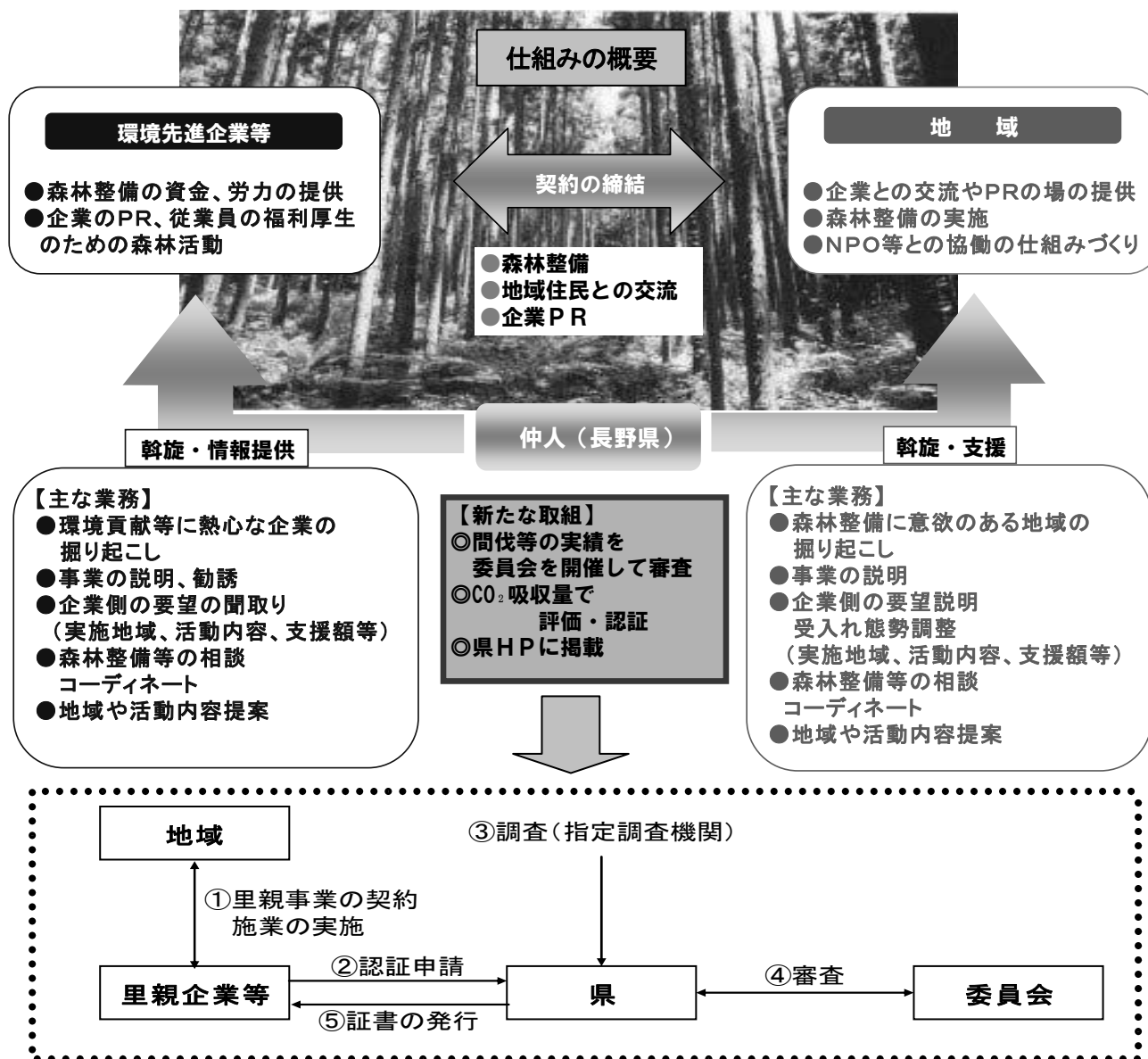
目 的

森林（もり）の里親促進事業にご協力いただいている環境先進企業等の取組を CO₂ 吸収量で評価・認証（CSR活動を数値化）することで間伐等を促進します。



取組内容と効果

評価・認証を希望する企業等について、間伐等の実施地を調査し、委員会（森林づくり県民税活用事業）で審査の上、県が認証書を交付します。これにより、企業等は、CSR報告書への記載やPRが可能となり、企業等のイメージ向上につながることから、結果として森林（もり）の里親促進事業への参画が増え、間伐等の加速化が期待できます。





委員会（長野県の森林 CO₂ 吸収評価認証委員会）の概要

委員会は、CO₂ 吸収の評価等の制度設計や認証のための審査等を実施します。

- 委員長 小林 紀之（日本大学大学院法務研究科 教授）
 副委員長 小林 元（信州大学農学部 准教授）
 委員 林 和弘（飯伊森林組合 代表理事組合長）
 片倉 正行（長野県林業総合センター 所長）
 大塚 孝一（長野県環境保全研究所 自然環境部長）



評価方法

京都議定書のルールに準じて、長野県における間伐等がもたらす CO₂ 吸収効果を評価します。

- 1 対象森林 森林の里親促進事業等により間伐等を実施した森林
- 2 算出式

森林による二酸化炭素吸収量 (ton-CO₂ /年)

= 森林面積 × 蓄積増分 × 拡大係数 × 容積密度 × 炭素含有率 × 二酸化炭素換算係数

- 注) 1 蓄積増分 ; 一定期間内における蓄積量の増分で幹材積の成長量(県民有林林分材積表)により算出
 2 拡大係数 ; 幹材積の成長量に枝や根の成長量を加算補正するための係数
 3 容積密度 ; 成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数
 4 炭素含有率 ; 樹木の乾燥重量に占める炭素の比率
 5 二酸化炭素換算係数 ; 炭素量を二酸化炭素量に換算するための係数

(例) カラマツ林の場合の評価

(単位 : t-CO₂ /年・ha)

| 林齢 | 地位級Ⅰ | 地位級Ⅱ | 地位級Ⅲ | 地位級Ⅳ | 地位級Ⅴ |
|----|------|------|------|------|------|
| 25 | 14.5 | 12.1 | 9.6 | 7.7 | 5.5 |
| 30 | 12.1 | 9.9 | 8.1 | 6.3 | 4.6 |
| 35 | 9.6 | 7.9 | 6.3 | 5.2 | 3.7 |
| 40 | 7.7 | 6.3 | 5.2 | 4.1 | 3.0 |
| 45 | 5.9 | 5.2 | 3.9 | 3.3 | 2.4 |
| 50 | 4.8 | 3.9 | 3.3 | 2.6 | 1.9 |
| 55 | 3.9 | 3.0 | 2.6 | 1.9 | 1.3 |



今後のスケジュール

- ・ 10月31日…部局長会議で報告
- ・ 10月31日…東京都職員を招いて市街地緑化の庁内研修会
- ・ 11月中 …長野県における市街地緑化の課題の整理
(委員会メンバーに個別に相談)
- ・ 1月～2月…認証のための現地調査(南相木村、池田町)
- ・ 3月上旬 …委員会開催
(今後に向けての課題等整理、市街地緑化提言)
- ・ 3月中下旬…認証と公表

認証書のイメージ

